



クリーンアップ。 ひぬま

Vol.21
2010.2

<http://www.hinuma-network.jp> ネットワークだより

第9回ひぬま環境フォーラムを開催

昨年11月25日(水) いこいの村湖沼において、第9回ひぬま環境フォーラムを開催しました。

ひぬま環境フォーラムは、湖沼水質浄化強化月間である11月に開催しており、ネットワーク会員や流域住民が一緒になって湖沼の環境について考え、参加者間の意見や情報の交換等を通じて湖沼流域における水質浄化活動の輪を広げることを目的としております。

フォーラム第1部では、湖沼水質浄化ポスター及び標語、第3回ひぬまフォトコンテストの表彰式を行い、ポスター417点、標語1,262点及びフォトコンテスト156点と多数ご応募をいただいた中から、選考委員会で選ばれた各賞の受賞者に賞状が授与されました。また、湖沼の水質浄化活動に特に功績のあった団体である常陽ボランティア倶楽部に表彰状が贈呈されました。

続く第2部では、元笠間市立佐城小学校長の藤枝登先生から「花づくりは人づくり～地域連携から地域融合へ～」の演題でご講演いただきました。

藤枝先生は赴任された広浦小学校や佐城小学校において、児童や地域の方々と共に花を育て、学校や地域の花壇を花で一杯にする「花いっぱい運動」に取り組み、平成15年には「全国花いっぱいコンクール」で内閣総理大臣賞を受賞されるなど学校と地域が一体となった環境美化活動を実践されてこられました。今回の講演では学校と地域が一体となった組織づくり等について詳しくご紹介いただくなど、私たちがこれから水質浄化活動の輪を広げていく上で大変参考になるお話を伺うことができました。



授賞式の様子

湖沼水質
浄化ポスター
最優秀賞



郡司 嵐至(茨城町立大戸小1年)



館野 裕紀(笠間市立稲田小6年)



山崎 巧巳(銚田市立旭中1年)

湖沼水質
浄化標語
最優秀賞

- おいしいみず さかなもぼくも ひぬまだいすき
- かがやくよ 湖沼の水と みんなの笑顔
- 知っている? 行動一つで変わるんだ 湖沼の未来と 一滴の水

吉井 文哉(笠間市立笠間小1年)
前島賢太郎(水戸市立常磐小4年)
道川伊緒菜(茨城町立桜丘中3年)

クリーンアップひぬまネットワーク会長あいさつ



涸沼の四季の変化に富む景観や水に生きる人々の業を活写する「ひぬまフォトコンテスト」も今回で3回目となりました。作品は涸沼流域の小中学生から応募いただいた水質浄化ポスターや標語と共に年頭の1月4日から17日まで水戸市の県立図書館ギャラリーを飾り、多くの人々に涸沼や涸沼川流域の現在の姿をお伝えすることができたと思います。

水戸周辺の写真撮影ポイントとしての涸沼の歴史は、半世紀以上に及んでおり、朝夕に素晴らしい被写体を私たちに提供してくれます。また、地元の写真愛好家の中には、自らが写真集を発行されている方もおられ「涸沼の四季」や「いのちの鼓動」がその代表作といえます。

流域にお住まいの皆さんも身近な涸沼流域の姿を写真を通じて紹介してはいかがでしょうか、それが水質浄化への第一歩に繋がります。

第4回ひぬまフォトコンテストに皆様から数多くの力作が応募されますことを願っております。

クリーンアップひぬまネットワーク会長 廣瀬 誠

各賞を受賞された皆様

涸沼水質浄化ポスター入選者

最優秀賞	郡司 嵐 至 (茨城町立大戸小1年)
	舘野 裕 紀 (笠間市立稲田小6年)
	山崎 巧 巳 (鉾田市立旭中1年)
優秀賞	山口 紗 和 (鉾田市立徳宿小1年)
	石塚 太 陽 (笠間市立稲田小2年)
	長峰 拓 海 (鉾田市立旭北小4年)
	藤江 真奈美 (笠間市立笠間小6年)
	浅野 真穂 (水戸市立内原中2年)
	川崎 麻美 (鉾田市立旭中3年)
優良賞	亀山 遥 南 (鉾田市立旭北小1年)
	佐久間 康 輔 (笠間市立笠間小1年)
	安田 鈴 佳 (茨城町立大戸小3年)
	山口 隼 斗 (鉾田市立徳宿小3年)
	雨谷 羅 夢 (茨城町立大戸小4年)
	鈴木 舞 夢 (茨城町立長岡小4年)
	吹野 萌 香 (茨城町立川根小4年)
	市毛 遥 (茨城町立川根小5年)
	清水 暢 公 (茨城町立広浦小5年)
	井川 貴 大 (鉾田市立旭中1年)
	萩谷 将 大 (茨城町立桜丘中1年)
	山口 晋 平 (茨城町立桜丘中1年)
	高松 広 夢 (鉾田市立旭中3年)

涸沼水質浄化標語入選者

最優秀賞	吉井 文 哉 (笠間市立笠間小1年)
	前島 賢太郎 (水戸市立常磐小4年)
	道川 伊緒菜 (茨城町立桜丘中3年)
優秀賞	伊師 潤 大 (笠間市立友部二小1年)
	丹家 涼 香 (笠間市立友部二小2年)
	仲内 利 弥 (茨城町立長岡小4年)
	畑中 直 (笠間市立箱田小5年)
	櫻井 葵 (笠間市立東中2年)
	菅谷 将 人 (茨城町立明光中2年)
優良賞	小野瀬 滉 人 (大洗町立大貫小1年)
	小林 稜 央 (茨城町立川根小2年)
	大津 花 佳 (笠間市立笠間小3年)
	鎌田 悠 那 (鉾田市立徳宿小3年)
	北条 亜 美 (笠間市立友部二小5年)
	旭 健 汰 (茨城町立川根小5年)
	宇野 武 (水戸市立寿小6年)
	磯 采 花 (笠間市立稲田小6年)
	皆藤 優 花 (水戸市立双葉台中1年)
	小沼 萌 (笠間市立岩間中2年)
	飯島 茜 (鉾田市立大洋中2年)
	石川 日 向 (茨城町立明光中2年)

第3回ひぬまフォトコンテスト入選者

最優秀賞	二宮 博 美 (茨城町)
優秀賞	滝山 稔 (水戸市)
	福田 義 康 (笠間市)
優良賞	三富 勝 夫 (水戸市)
	柏木 陸 雄 (水戸市)
	鈴木 英 明 (那珂市)
	金 沢 清 治 (大洗町)
	是 永 尚 (千葉県船橋市)
奨励賞	市毛 友 理 (茨城町立桜丘中3年)
	東ヶ崎 海南子 (同 1年)
ニコン賞	古橋 一 郎 (水戸市)

水質浄化功労団体

常陽ボランティア倶楽部 (水戸市)

【活動内容】

常陽銀行行員の個人ボランティア活動を支援するために設立され、環境を始め様々な分野でボランティア活動を展開しております。クリーンアップひぬまネットワークが実施する「ひぬま流域クリーン作戦」にも常陽銀行長岡支店及び旭支店が中心となって初回から継続的に参加するなど、涸沼流域の環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。

Q2. 涸沼の水質は全国で何番目位なの？

A2. 平成20年度は187湖沼中、悪い方から14番目でした。

食の安心安全の食味会

茨城町さわやかエコの会・郡 司 亘



少し前になりますが、食品の偽装表示や輸入食品の安全性がテレビや新聞等で報道され、食の安全と安心が大きな話題になったことをご記憶かと思えます。

私たちさわやかエコの会水稻部会員と家庭菜園を含めた農家の約140名のグループでは、平成18年から食の安全と安心を自ら実践するため、農薬や化学肥料を一切使わない自然農法による農産物の栽培を行っております。また、収穫したお米や野菜類を使用した食味会を毎年1回実施し、参加者にお米や野菜等の試食をしていただいております。

昨年は12月7日に開催し、例年より若干少なかったものの48名の方々にご参加いただきました。

食味会では、参加者に私たちのグループが栽培した自然農法によるお米と農産等を用いた慣行栽培によるお米の両方を試食していただき、外観、香り、味、粘り、硬さ等について5点法により総合評価した結果、自然農法米に軍配が上がりました。その後、自然農法で作ったお米と野菜を使ったおにぎりどけんちん汁を堪能し、参加者から「こんな良い味のお米は食べたことがない」、「お米に甘みがあってとても美味しかった」などのご感想をいただき、生産者の一人として大変うれしい限りでした。

私たちの作ったお米は、安心、安全であることはもちろんのこと、農薬や化学肥料を使用していないため、水質や周辺環境への影響も少なく、将来の生活環境の改善に大きく結びつくものと考えております。

当然、多少の手間はかかりますが、多くの人たちが自然農法に関心を持たれ、安全で安心な作物作りに取り組まれることを願って止みません。

※自然農法：私たちのグループは、米糠、魚粉等を有用微生物で発酵させることにより、土づくりを行っています。



「ゴミゼロで 魚が集まる 涸沼にしよう」

銚田市立旭北小学校

旭北小学校では、銚田市内の中で唯一涸沼に近い学校として、毎年涸沼浄化活動に取り組んでいます。子どもたちは、自分たちの身近な環境を見直すことで、環境問題を自分たちの問題として捉え、人と環境との関わりについて学習しています。

今年度も涸沼クリーン作戦を6月に行い「ゴミゼロで 魚が集まる 涸沼にしよう」というスローガンのもと、学校からいこいの村涸沼アイリスパークまでの道路を低学年・中学年・高学年の3コースに分かれ、ゴミ拾いを行いました。集めたゴミの多くは、空き缶や空きビン、ペットボトル、たばこの吸い殻などでした。当日は、地域の方々もゴミ拾いに参加してくださり、PTA役員の方々には、集めたゴミを回収して学校まで運んでいただきました。こうして回収したゴミは、市のゴミ収集車でクリーンセンターへ運ばれ、処理されています。

この活動は27年間前から継続して行っているため、地域の方々の意識も高く、日頃から自主的にゴミを拾ってくださっていますので、以前に比べてゴミの量はかなり減ってきています。しかし、ガードレールの後ろや窪地には、電化製品等の粗大ゴミが不法投棄されていることもありました。

これからも涸沼浄化活動を通して、学校や地域の方々に「ゴミゼロ」を呼びかけていきたいと思えます。

また、12月に行われた旭北小ひぬまマラソン大会には、ゲストティチャーとして茨城県環境アドバイザーの山口先生にお越しいただき涸沼に生息する鳥の話を知ったあと、望遠鏡を使って涸沼湖畔の鳥を観察しながら、鳥の種類や生態などについてご説明をいただきました。実際に鳥を観察することで、鳥たちがこれからも生息できるような自然環境を大切にしていこうという意識が高まりました。

この他にも涸沼浄化を呼びかけたポスター作り、ケナフでの卒業証書作り、給食の牛乳パックの回収など環境を考えた活動を中心に行っています。今年度はさらにエコキャップの回収や大谷川へのサケの稚魚放流など新しい活動にも取り組んでいます。これからも旭北小学校では、涸沼の環境保全に対する取り組みをさらに進めていこうと考えております。



涸沼クリーン作戦の様子

Q3. 涸沼には何種類の魚がいるの？

A3. 現在105種類が確認されています。

賛助金のご協力ありがとうございました

ネットワーク活動の充実を図るため、事業所会員及び団体会員の皆様に賛助金（1口 10,000 円）のご協力をお願いした結果、28 の事業所及び団体から合計 290,000 円のご協力をいただきました、誠にありがとうございました。ご協力いただきました賛助金は、啓発物品（エコバック）の作成費に充てさせていただきました。

- 【2口】 日本たばこ産業(株)友部工場
- 【1口】 あさ川製菓(株) (株)ニコン水戸製作所
- (株)常陽銀行公務渉外部 (有)井戸ライフ
- 内原カントリークラブ 稲田石材商工業協同組合
- (株)タカタ イオンリーテル(株)ジャスコ笠間店
- 板橋精機(株)岩間工場 八幡砕石工業(株)茨城工場
- 石岡ゴルフクラブウエストコース オールドオーチャードゴルフ倶楽部
- (財)茨城県環境保全事業団 (株)茨城県中央食肉公社
- (社)園芸いばらき振興協会 日東電気(株)
- 水戸市内原商工会 笠間市商工会
- 茨城町商工会 大洗町商工会
- 水戸農業協同組合 茨城中央農業協同組合
- 茨城旭村農業協同組合 (社)茨城県畜産協会
- 茨城県生活協同組合連合会 (社)水戸観光協会
- (社)笠間観光協会 (敬称略)



第4回ひぬまフォトコンテスト作品募集のお知らせ

第4回ひぬまフォトコンテストの作品を募集しています。

湖沼流域の自然や人々の暮らし等、あなたが未来に残したい湖沼の風景を写真を通し、表現してみませんか。多数のご応募をお待ちしております。

- 【応募規定】・作品のテーマは、湖沼流域の①自然風景、②動植物、③人々の暮らし等です。
- ・作品は、カラー四ツ切サイズとします。(高校生以下はサービス判での応募が可能です。)
 - ・応募は、1人10点以内です。(各作品の裏面に応募用紙を貼付願います。)
 - ・最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞5点、ニコン賞1点を選定し、表彰する予定です。(表彰式は平成22年11月に行う予定です。)

応募締切：平成22年9月30日(木) ※当日消印有効

※応募の詳細については、ホームページ(www.hinuma-network.jp)をご覧ください。

読者プレゼントクイズ「ナンバーナイン」に挑戦

<input type="text"/>		2		9			6	
9	4				1			8
	7		4	2				3
5							3	
		1		6		5	<input type="text"/>	
	9	3		<input type="text"/>				
1				5	7		4	9
6		<input type="text"/>	9				2	
	2			8		1		

タテ(9列)・ヨコ(9行)・マス(9桁)に1から9の数字が重複しないように入ります。4つの□に入る数字の合計をお答えください。

正解者の中から抽選で10名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします。

【応募方法】

官製ハガキにクイズの答え及び住所・氏名・電話番号をご記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※平成22年3月31日(水)の消印有効です。

発行：クリーンアップひぬまネットワーク
 〒310-8555 水戸市笠原町978-6 環境対策課内
 電話 029-301-2968 FAX 029-301-2969
 ホームページ <http://www.hinuma-network.jp>

Q4. 湖沼の一番の特徴って何ですか？

A4. 淡水と海水が混じり合った汽水湖です。